

憲法違反の「戦争法案」に反対し、 廃案までたたかいの行動を！

—東京のうたごえ協議会 常任委員会アピール—

安倍内閣は、海外での武力行使を可能とする安全保障関連法案を6月15日国会に提出、会期も大幅に延長して何としてでも成立させようとしています。この「国際平和支援法」と10本の戦争関連法を改悪する「平和安全法制整備法案」は、アメリカなど他国が海外で行う軍事行動に日本の自衛隊が協力し加担していくものであり、国会での憲法学者の方々の発言にも顕れているように憲法違反であることは明白です。また、この法案に反対する国民の声が大きく広がっているにもかかわらず、数の力で押し切ろうとする安倍内閣の暴走を許すことはできません。

戦後の平和憲法のもと、日本国民は誰ひとり戦争で殺さず、殺されない年月を70年間に渡って築き上げてきました。私たちうたごえ運動は1948年運動創設以来、一貫して「うたごえは平和の力」を合言葉に憲法のこころを歌い、反戦平和を願う多くのみなさんと歌で共感の絆を結んで活動を広げてきました。また、平和憲法と民主主義を脅かす動きには多くの方々とともに反対のとりくみを行ってきました。

私たち東京のうたごえは、今回の安全保障関連法案に断固として反対し、即時に廃案とすることを強く求めます。思いを同じくする多くのみなさんとともに、廃案に追い込むまで反対の声を、うたごえを大きく拡げて行動します。

2015年7月15日
東京のうたごえ協議会